

照葉樹林だより

64
No.
2023 3.20



春の大森岳 [中央の▲が大森岳]

(綾町 大口遊歩道照葉樹林展望コース展望スポット)

撮影:大津留タ力子)

- 綾プロの取組のこれまでとこれから 2-4 p
行事報告(2月~3月) 5 p

- トロッコ道の整備について 6 p
トロッコ道調査報告を振り返る 7 p
お知らせ・事務局だより 8 p

発行:一般社団法人 てるはの森の会

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス403号

TEL 0985-35-7288 / FAX 0985-35-7289

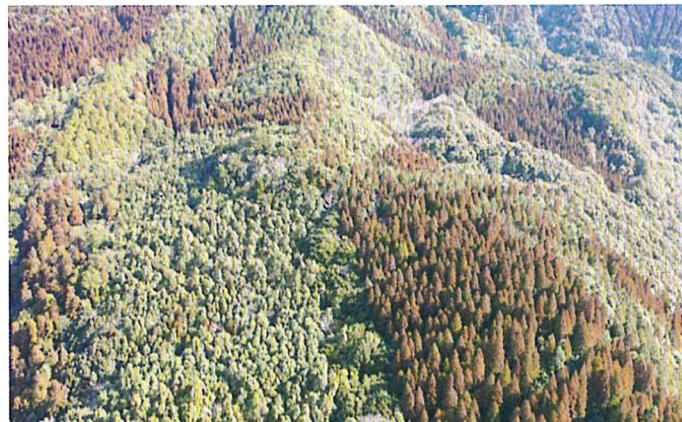
E-mail: teruha@miyazaki-catv.ne.jp ホームページ: <http://www.teruhanomori.jp> (HPアドレスが変わりました。フェイスブックも発信中!)

「綾の照葉樹林プロジェクト」は、日本最大級の面積を誇る
綾の照葉樹林の保護・復元を目指す、官民協働のプロジェクトです

綾プロの取り組みのこれまでとこれから

岡 杏奈(九州森林管理局)

平成17年に九州森林管理局、宮崎県、綾町、日本自然保護協会、てるはの森の会の5者が綾の照葉樹林復元プロジェクト(通称;綾プロ)の協定を締結しました。綾に現存する国内最大級の照葉樹林帯を保護し、周辺の人工林を照葉樹林へ復元することで、綾の照葉樹林を後世に継承することを目的としています。約1万haに及ぶ広大な面積の森林を対象に多様な主体の参画の下、継続的に各種取り組みを実施しています。



綾プロエリア（川中神社東側）

九州森林管理局におけるこれまでの取り組み

九州森林管理局ではこれまで、綾プロエリア内の国有林において、照葉樹への復元を目的とした人工林の間伐を継続して実施しています。①ニホンジカ(以下、シカ)の採食の影響により照葉樹の稚幼樹の生育が妨げられ、シカの食べない植物が繁茂てしまっている箇所があり、②種子供給源から遠いために照葉樹の稚幼樹の発生がない箇所もあり、復元が思うように進んでいない状況にあります。



シカ被害対策協定の締結

このため、令和3年度、復元を目指している人工林の一部において、照葉樹の稚幼樹の単木保護や小面積保護の試行を開始しました。また、綾プロエリア内でのシカの捕獲については、委託捕獲事業を宮崎森林管理署※(以下、宮崎署)により平成29年から実施しています。令和3年度には綾町、綾町有害鳥獣対策協議会と宮崎署でシカ被害対策協定を締結しました。

さらに、綾プロの取り組みが綾町民など一般の方々からも見ていただけるような新たな取り組みとして、①綾プロエリアに生息するシカの基礎情報の収集、②シカ捕獲圧の強化、③復元に効果的な間伐、④地元の小中学生協力によるドングリの育苗・植栽を、比較的アクセスのよい川中神社周辺において実施することについて、令和3年度に綾プロ連携会議に提案し、綾プロ構成員が連携して取り組んでいくことになりました。

※宮崎森林管理署…九州森林管理局内の機関



自動撮影カメラ

新たな取り組み

<シカの基礎情報の収集>

これまで、綾プロエリアに生息するシカの基礎的な生態情報に関する知見はほとんどありませんでした。そこで、より効果的な捕獲を行うため、令和3年度に、生息密度推定(糞粒調査)と生息状況把握調査(自動撮影カメラ設置)、令和4年度に行動把握調査(雌成獣1頭にGPS首輪装着)と生息状況把握調査を実施しました。

結果として、生息密度は65.6頭/km²と推定され、生息状況についても季節変化があるものの、通年、頻繁な土地の利用が確認されました。行動把握調査(追跡期間:令和4年10月22日～令和5年2月2日)の結果からは、調査対象個体の行動範囲は約1.3km²であり、川中神社周辺の梅林や夜間の綾南川の頻繁な利用等の行動パターンが確認されました。

今回得られた情報を活用して、効率的な捕獲を進めるとともに、生息密度等についても引き続きモニタリングを行っていく予定です。

<シカ捕獲圧の強化>

綾町内では、綾町有害捕獲事業と宮崎署委託捕獲事業の2つの捕獲主体によるシカ捕獲が実行されています。これらの対象範囲については、綾町と宮崎署で調整を図り、効率的・効果的な捕獲ができるよう努めています。また、前述したシカ被害対策協定では、綾町有害捕獲事業の範囲のうち、里に近い国有林やその周辺の農地を対象範囲として、宮崎署が綾町有害鳥獣対策協議会にくくり罠の貸出しを行い、さらに、シカの捕獲効率の向上や捕獲圧強化を目的として、誘引餌の支給、小林式誘引捕獲(写真1)を試行しています。今後も関係する各主体が協力、調整しながら捕獲を進めていきます。



写真1 小林式誘引捕獲
くくり罠の周りに石と餌を配置したもの

<復元に効果的な間伐>

川中神社周辺の国有林内では、令和6年度以降、復元に向けた間伐の実施を予定しています。このため、令和5年度は、周囲から種子供給が期待できるような効果的な間伐方法の検討や、既に生育している照葉樹に損傷を与えないような選木や伐倒方向等の検討を行う予定です。

<地元小中学生協力によるドングリの育苗・植栽>

綾プロエリア内で採取したドングリの播種→育苗→植栽の取り組みが令和4年度より始動しました。この取り組みは、綾小学校や綾中学校の児童、生徒や先生方の協力を得ながら、一緒に綾の照葉樹林の復元を目指すものです。事前にドングリの植栽予定地の潜在自然植生調査を行い、イチイガシ、ウラジロガシ、コジイ等が適正樹種であることが明らかになったため、これらを植栽樹種として母樹を選定、令和5年度は、小中学生に播種、育苗をしてもらい、植栽は令和7年を予定しています。



ドングリ採集のトラップ



コジイの稚樹

最後に

今回紹介した新しい取り組みは、綾小学校や綾中学校、獣友会をはじめとした町民の方々のご協力のもと、実現できているものです。この場をお借りして、感謝申し上げます。新しい取組は始まったばかりですが、今後も綾プロ関係者や綾町民の皆様など、様々な方々と協力していくならと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(おかあんな・熊本市)

◆川中神社梅まつり [2月12日(日)]

前日まで、曇り一時雨という天気予報で同時にを行うはずの「シカ侵入防止柵」張替作業は中止になりました。梅まつりだけの参加となりました。

川中神社までの道をのんびり登り、神社の神事に参加しました。そしてふるまい料理をいただき、料理に舌鼓を打つ、満足な一日でした。梅はまだ三分咲きでした。お昼時は、暑いくらいの日差しでしたが、帰りには厚い雲が空を覆っていました。

◆「げんだぼの森」春の観察会 [3月8日(水)]

綾町古谷地区で里山づくりをしている「げんだぼの森」観察会を開催しました。

参加者は9人。ツクシが顔を出し、スミレ、ノイバラ、コブシの花が咲き始めた春の里山。昨年は、春の草刈りが突然の雷雨で中止になり、初めて秋に草刈りしました。そのため、草も伸びておらず、散策しやすく、快適！最後はお決まりの草の上に大の字になり、のんびり春を全身で感じました。

◆「大人の山学校」モニターツアー [3月11日(土)]

綾町上畠公民館を中心に進めている「大人の山学校」モニターツアーを開催しました。

8時にスタッフ集合、9時にお客様をお迎えし、9時過ぎ里山散策に出発です！

上畠橋を東に町中心部の方へ戻り、左側の小高い丘を登り、旧トロッコ道を一部通り、発電所横の綾南川に下りてくる約2時間のコース。その後、上畠公民館で昔の猟師飯（イノシシカレー、イノシシの焼肉、ノビルなど野草も入った白和え、手作りお菓子）をいただき、お腹いっぱいになりました。食事の時には、綾獣友会を取材したテレビ映像も流され、最後はシシ肉のお土産付きという豪華版でした。

快晴の下、暑いくらいの陽気で、菜の花満開の里山を歩きました。今後は、改良を重ね、定期的に開催の予定です。



イノシシの説明

◆ガイド養成講座受講生限定大森岳林道散策 [3月12日(日)]

竹野ゲートから車で約1時間で、大森岳登山口へ。そこで車を降り、南側を望むと、天気の良い日には錦江湾まで見渡せると説明を受けましたが、この日は曇り空で霞んでいて、下見の日見えた霧島の山あまり見えませんでした。北側を覗くと国富町の街並みが見え、こちらも天気の良い日には、太平洋が望めるそうです。



大森岳登山口より南側を望む

林道を下りながら眺めの良い開けた2か所で車を降り、綾プロの北側の山々の眺めを満喫しました。

先導と案内は、綾獣友会小西会長です。先導の車に石をよけてもらいながら、進みましたが、もう少しでゲートに戻るというところでパンクしたようで、林道を下りてから、パンク修理をすることになりました。林道入り口には鍵がかかっています。私たちも宮崎森林管理署に入林許可をもらって入山しました。

綾町史によると、トロッコ道は茶臼岳線、綾北線、綾南線の3本が敷設されました。それぞれ明治44年、大正9年、昭和4年に開設開始したが茶臼岳線は昭和35年、綾北線は昭和32年、綾南線は昭和43年に廃止となりました。

その後、綾南線について一部は歩道自転車専用道（綾小学校西門から水窪入口まで約3キロ）として整備され、通学路としても活用されました。

しかし、ここ30数年は孟宗竹や雑木等の倒伏により活用されることもなく荒れ放題となっていました。

私は、定年後を見越して50歳から定年後の里山暮らしのための移住先をみつけるため高岡、国富、綾方面に幾度となく足を運び、妻に持ち掛けたもののなかなか了解が得られませんでした。

そしてかれこれ4年間の土地探しの末、54歳（2005年）のとき綾町の日向夏ミカン園に出会い、ここでようやく妻の了解がとれましたので現在地に決め通い農業がスタートしました。通い農業を

始めて、気になっていたのが歩道自転車専用道路でした。というのも、我が農園の出入り口のすぐ前が専用道路の終点になっていたことです。ランニングが日課になっていた私は、この道路がランニングコースにピッタリ。まさに私にこのコースを走って欲しいと訴えているようにも思いました。それから、十数年経過した2021年秋にこの専用道路をみんなが歩けるよう整備しようと妻と二人で話しあっていました。



作業のようす



協議会の仲間たち

そしていよいよ整備開始のときになって、この話を伝え聞いた有志（まちづくりネットワーク協議会、役場職員）の手伝いで、僅か2回の整備で一通り歩けるようになりました。

しかし、その後の台風襲来もあり、再び通行不可能状態になりましたが、綾町役場の夢応援プロジェクト（地域住民自らが主体的な町づくりの取り組みを支援する事業）がスタートしたことで、今度は一定の補助を受けてトロッコ道整備に取り組むこととなりました。

そこで、新たにトロッコ道再生協議会を立ち上げ、2022年10月から整備をはじめました。2023年2月までの合計5回（延べ50人日）整備に取り組み、約4キロの整備を終えることができました。

もう少しで綾照葉大吊橋がみえるところまできました。途中、のり面が一部崩壊しているところや、ゴミが散乱しているところ、斜面に岩石が流れて危険な箇所もあり土木機械等での修復も必要な場所もあります。終点の多古羅までは約30キロあり、今後継続的な整備が必要です。

照葉樹林を吹き抜ける風はまさに悠久の歴史を体感する森の風、綾南川の流れに沿って歩く遊歩道は世界に誇れるものになると思います。

（ありきしげあき・綾町）

トロッコ道調査報告(2007年～2008年)を振り返る

てるはの森の会 事務局

3月10日（金）綾ユネスコエコパークセンターで開催された「トロッコ道再生協議会報告会」（左ページ参照）に参加しました。

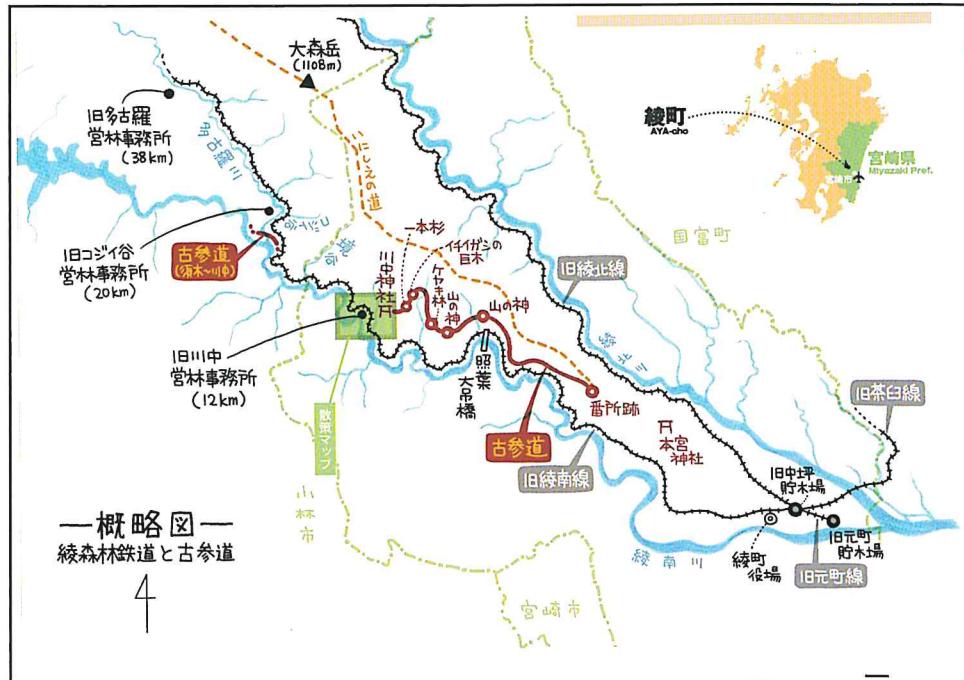
その報告会で、2007年～2008年、3回にわたりトロッコ道（旧綾南線）跡を調査した内容を報告しました。

第1回調査は、2007年10月8日尾立～綾照葉大吊橋（時間10時～13時）参加者9人、第2回調査は、同年11月19日綾照葉大吊橋～川中神社参道（9時～14時）参加者10名、第3回調査は、2008年2月9日川中神社参道～多古羅林道ゲート（9時40分～14時40分）参加者15名です。

調査の目的は、土砂崩れで通行止めになっている自然歩道はどんな状態なのか、また歩道沿いの古木、銘木、珍しい植物などを観察するためです。

第1回調査の尾立～綾照葉大吊橋では、小規模崩落が2か所あり、道下の石垣沿いに迂回したという記述がみられます。トロッコ道横に幹周6.2m高さおよそ35m、樹齢は約400年と思われるイチシガシの巨木もありました。割と順調に照葉大吊橋付近まで歩けましたが、吊橋下は、ロックネットが張られ約30mにわたる大量の落石でどうにも進めなくなり、少し戻り吊橋横の沢の石斜面を40分ほど山の神までよじ登ることになりました。

第2回調査の綾照葉大吊橋～川中神社参道間は、幅10～20mの大規模な崩落が2か所、小規模崩落や水抜き暗渠が塞がれ流失した土石の堆積した所が4～5か所ありました。橋も鉄骨の橋げたのみが大小3か所と記されています。終点に近



綾森林鉄道（トロッコ道）概略図
「照葉の森が育む山のくらし」より

い川中神社参道の[さえの谷橋]南側の鉄橋も一部流失していて渡れませんでした。前回の沢登りが大変だったため、今回から山の会の仲間が参加し、危険なところにロープを張ったり迂回路を先導してくださることになりました。

第3回調査（川中神社参道～多古羅林道ゲート）は、西に歩き始めると、人の頭より大きな石がゴロゴロしている状態が半端ない距離で続きます。イノシシが餌を求めて掘り返したそうです。道下には平坦な開けた製材所跡もありました。橋の崩落が4か所、集落跡とみられる風呂窯、割れガラス、一升瓶が散乱している箇所が2か所ありました。

今回昔の調査を振り返り、記録することの重要性を再認識しました。調査から15年ほどが経ち、道の状態はかなり変わっていると思いますが、昔を知ることが今を知ることに繋がります。

1回目の調査結果は、「照葉樹林だより第9号」（2007年1月20日発行） 2回目は、「第10号」（2008年2月20日発行） 3回目は、「第11号」（2008年5月20日発行）に詳しく報告されています。

8th 写真作品募集

締切/2023年6月30日(金)当日消印有効

照葉樹林の自然を題材にした写真3作品を募集します。

※詳細はチラシまたはHP参照

①本誌「照葉樹林だより」に掲載され、全国に配布されます。

②以下のいずれか1つプレゼントが届きます！

*大地の恵みを味わいま賞（綾町商工会の商品券1,000円分）

*綾の照葉樹林を知りま賞（照葉樹林ガイドブック）

*体にとってもいいで賞（薬膳茶房オーガニックごうだ お食事券1人分）

◆問い合わせ・申し込み先 (一社) てるはの森の会

TEL 0985-35-7288 FAX 0985-35-7289

Mail : teruha@miyazaki-catv.ne.jp



生きものや人物
が入っていても
OK!

事務局だより



◆てるはの森の会 関連行事

終了した行事

1月 15日(日) 第5回ガイド養成講座

31日(火) 第5回連絡調整会議

2月 1日(水) 川中コース下見

5日(日) 第6回ガイド養成講座

9日(木) 地域づくりWG

12日(日) 川中神社梅まつり参加

18日(土) 綾神社ガイド

19日(日) 林床調査(川中)

21日(火) 第6回連絡調整会議

第37回連携会議

3月 1日(水) げんだぼの森春の観察会下見

2日(木) 大森岳散策下見

8日(水) げんだぼの森春の観察会

10日(金) トロッコ道再生協議会報告会

11日(土) 大人の山学校モニターツアー

12日(日) 大森岳散策(ガイド受講生)

◆綾照葉大吊橋遊歩道一部通行止めのお知らせ

昨年9月の台風14号により全線通行止めになっていました。吊橋遊歩道は、途中まで通行できるようになりました。今のところカジカ橋や終点までは通行できません。

詳細は綾町照葉大吊橋料金所にお尋ねください。

TEL : 0985-77-2055

それに伴い、現在遊歩道ガイドは行っておりません。短縮コースや代替えコースを検討中です。詳しいは、当会事務局にご相談ください！

◆「照葉樹林だより」の企画委員を募集！

企画・校正等をお手伝いくださる仲間を募集しています。興味のある方は、事務局までご連絡ください。皆さまのご参加をお待ちしています！

ご寄付をいただきました。大切に使わせていただきます。

(敬称略 令和5年3月20日まで) 木野田 肇
八代佳代子

会員募集中！

(一社)てるはの森の会では、綾の照葉樹林プロジェクト(綾プロ)にご協力いただける会員を募集しています。会員になっていただくと、照葉樹林や綾プロに関する情報を掲載した「照葉樹林だより」を年3回お届けします。綾プロが実施するイベントや各種行事に参加できます。詳細は事務局までお気軽にお問い合わせください。

年会費

個人会員	2,000円
団体会員	5,000円
法人会員	10,000円